



小・中・高校生
による

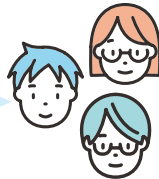
平和使節団の報告



戦後81年が経過し、戦争・被爆を経験された方々の声を聞く機会は、年々貴重なものとなっています。
平和について自ら学び、その大切さを周りの人に伝えたいと考えた児童・生徒を
平和使節団として沖縄、広島、長崎へ派遣しました。

〒国際平和・男女平等人権課国際平和係 ☎03-5211-4165

各訪問先での学びや
体験について、団員から
寄せられたコメントを紹介。



沖縄班

OKINAWA

派遣期間

7月23日～25日

戦争体験講話、平和の礎、沖縄県平和祈念資料館、宜野湾市平和大使の皆さんとの平和学習会@宜野湾市立博物館、フトッキアブ洞窟、嘉数高台、ひめゆりの塔、ひめゆり平和祈念資料館、対馬丸記念館 ほか



フトッキアブ洞窟

フトッキアブは自然洞窟(ガマ)であり、戦時中は集落の人々の避難壕として利用されました。実際に洞窟へ入り当時の生活を知ること、戦争の悲惨さや恐怖を感じるとともに、そのような状況の中を生き抜いた方々の強さを感じました。



宜野湾市平和大使との平和学習 @宜野湾市立博物館

宜野湾市平和大使の皆さんとの平和学習では、平和について意見交換を行いました。マインドマップを使って「平和とは何か」を考え、それぞれの考え方を共有することができました。さまざまな意見に触れ、平和について改めて考える良い機会になりました。



ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆり学徒隊の生徒や先生方の紹介が特に印象に残りました。「明るい」「やさしい」など、一人ひとりの人柄が紹介されることで、戦争の犠牲となったのが私たちと変わらない普通の少女たちだと実感しました。戦争を経験していない私たちにとって、戦争の恐ろしさを強く感じさせる場所だと思いました。

広島班

HIROSHIMA

派遣期間

8月5日～7日

広島市役所旧庁舎資料展示室、全国平和学習の集い(被爆体験講話・ディスカッション)、平和記念式典、本川小学校平和資料館、広島平和記念資料館、平和記念公園(原爆の子の像、動員学徒慰霊塔、平和の鐘、原爆ドームなど) ほか



全国平和学習の集い

全国平和学習の集いでは被爆者の方から戦中の悲しい記憶を聞かせていただいたり、全国各地から集まった中高生の方々と意見を出し合い、平和な世界の実現につながるための一歩を踏み出すことができました。



原爆ドーム

原爆ドームは、広島市の平和記念公園にある建物で、もともとは「広島県産業奨励館」という名前で使われていましたが、1945年8月6日に原子爆弾が投下され、建物は大きな被害を受けました。爆心地に近い場所にありながら、建物の一部が残ったことから、今では、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さを考える場所として、世界中の人々が訪れています。



広島平和記念資料館

被爆者の方々の思いや当時の悲惨な状況を知ることができました。そして、戦争をしてはいけないという思いを強くするとともに、多くの人に伝えていきたいと思いました。

長崎班

NAGASAKI

派遣期間

8月8日～10日

山里小学校、青少年ピースフォーラム(被爆体験講話・ディスカッション)、平和祈念式典、未来を生きる子らの像、平和を祈る子の像、長崎大学医学部(旧・長崎医科大学)、長崎原爆資料館、長崎平和公園、永井隆記念館 ほか



山里小学校(被爆遺構)

原爆の被害は知っていましたが、実際に訪れると、写真や映像を見るだけでは分からない多くのことを感じました。この体験を通して、二度とこのような悲惨な出来事が起こらないことを願う気持ちが強くなりました。



長崎原爆資料館

原爆による被害や被爆者への救護活動について学びました。戦争は遠い過去の出来事だと思っていましたが、世界には現在も多くの核兵器が存在し、平和な暮らしは決して当たり前ではないことを実感しました。今回の学びを通して、これからも平和について考えていきたいと思いました。



青少年ピースフォーラム

青少年ピースフォーラムでは、戦争体験者のお話を聞き、戦争疑似体験をして、戦争について学びました。戦争によって苦しい目に遭うのは戦争中だけではなく、終わった後でも苦しめられ、心も傷つくものだとなりました。

平和は、
みんなが笑顔で幸せに暮ら
ること、一人一人が大切にされ
ることだと思います。
2026.8.18
FAN ZIXIN



FAN ZIXINさん

1人、1人がそれぞれを認め合う
ことが大切



佐々木悠凜さん

佐々木
悠凜

悲劇を過去で終わらせない、
互いを知り築く平和の絆で
新美結子



新美結子さん

沖縄

Okinawa



(左から) 田近千翔さん(高1)、太田優月さん(中1)、佐々木悠凜さん(中3)、
塩谷緒橙さん(高3)、齊藤璃奈さん(高3)、FAN ZIXINさん(小6)

広島

Hiroshima



(左から) 金成美々嘉さん(高1)、神崎佳子さん(中3)、荒生夢夏さん(中3)、
神悠貴さん(中2)、新美結子さん(小6)、日高真実さん(中2)

平和への メッセージ

派遣を通じて感じた平和の大切さを胸に、
団員たちが平和への願いを寄せ書きにしました。

長崎

Nagasaki



(左から) 三浦木々奈さん(中3)、丸田伊緒さん(中2)、石上夏凜さん(中1)、
下条りかさん(中3)、齊藤和志さん(小6)

平和な日々を当たり前だと
思わず、相手と支え合う気持ち
を大切にして、笑顔で過ごす
未来を作っていきたいです
神悠貴



神悠貴さん

全ての生物が毎日平和に
生きている世界が大事
である。
齊藤和志



齊藤和志さん

平和とは、安心して楽しい生活
を送れること、人と争いがない
ことだと思います。
石上夏凜



石上夏凜さん